

国鉄改革完遂！ 当たり前の労働運動を 前進させよう！ JR 東海労に 結集しよう！	J R 東海労	静岡	J R 東海労働組合静岡地方本部 〒420-0851 静岡市葵区黒金町 68 番地 N T T 054-284-3608 発行責任者： 半場弘恭 2024 年 6 月 23 日 No. 3 2
--	-----------------------------	-----------	--

静岡県リニア工事差止訴訟第 14 回口頭弁論に参加 リニア工事で自然破壊！周辺生態系が変わる！ 北陸新幹線は北アルプスを貫通させなかった！

6 月 22 日、地本は静岡県リニア工事差止訴訟第 14 回の口頭弁論に参加してきました。静岡市の原告村山俊一さんが弁論に立ち「南アルプスの稜線にはお花畑があり、絶滅危惧種の高山植物が多数みられる。お花畑の鹿対策としてネットを張ってきた。北陸新幹線は、土被り 2000m で高圧・大量な湧水や、強大な地圧による危険性から、北アルプスを貫通しなかった。ツバクロに 3 6 0 立方メートルの掘削土、藤島沢付近に 1 0 万立法メートルの重金属を含む土が置かれる計画、土石流によって流されれば生態系を大きく変えてしまう懸念がある。自然破壊されないか、後世に残すことができるのか心配」と主張しました。岐阜県瑞浪市では、トンネル工事の影響で井戸の水位が低下しました。また、同県恵那市のでは工事現場の観測用井戸からは基準値を超える有害物質の六価クロムが検出され、JR 東海丹羽社長は、2 件の岐阜県への報告が遅れたことで知事に陳謝しています。破碎帯から抜けた水は元に戻ることはありません。リニアトンネル建設により発生土が、大井川の水質汚染をすることはあってはなりません。村山原告の不安が的中しないため直ちにリニア建設は止めるべきです。

次回 15 回口頭弁論は 9 月 13 日です。